



第44回卒業証書授与式

3月1日(木)に、第44回卒業証書授与式を挙行し、5名の卒業生が五木分校を巣立ちました。当日は、卒業生を祝うかのように柔らかな陽が差し込む中、多くの方々にご臨席を賜り、深水校長の式辞、県教育委員会のあいさつに続き、来賓の方々から卒業生へのお祝いや激励の言葉をいただきました。在校生を代表して生徒会長の森下龍聖君の送辞の後、卒業生代表の森下聖太君が五木分校での3年間の思い出を振り返りながら答辞を行いました。先輩・後輩がお互いを思い合う言葉が多く語られながら、式場は温かい気持ちに包まれた素晴らしい卒業式となりました。また式後は、卒業生、在校生、保護者、職員全員での茶話会が行われ、卒業生と過ごす最後の楽しいひと時となりました。卒業生の今後の活躍を期待します。

< 答 辞 > 卒業生総代 森下 聖太 ◎抜粋して一部掲載します。

在校生の皆さん。こんな頼りない私たちでしたが、皆さんのお陰で、私たちも先輩としての責任を持って、生徒会活動や部活動、あらゆる行事において、最上級生としての役割を果たそうと努力することができたと思います。来年度はそれぞれ学年が上がるといいます。上級生としてのあるべき姿を目指し、五木分校生としての自覚を持って、残りの学校生活を存分に楽しんで下さい。また会いましょう。

私たち卒業生は、それぞれ新たな道に向かって歩き始めます。皆に優しくあった井上くん。何事にも全力だった田上くん。いつも周りを笑わせてくれた嶽本くん。努力家の西さん。個性豊かなメンバーとの生活は本当に充実していました。ありがとう。皆との思い出は私の宝物です。明日からは、一緒に過ごせなくなると思うととても寂しいですが、それぞれがこの三年間で学んだことを糧にして、新たな人生に羽ばたきます。



第200号
平成30年3月
編集発行
熊本県立人吉高等学校
五木分校

転任される先生方

深水 裕二 校長先生



平成27年4月、あちこちの桜の木は美しい花が満開で、人吉高校から向かう途中の山々の景色が美しく、このような美しい環境の中でどんな生徒が学んでいるのかな・・・と思いながら五木分校に着任したことが思い出されます。

それから3年間、月日の経つのは本当に早いものです。保護者の皆様、五木村の方々には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。特に、保小中高合同大運動会や分校の文化祭である五文祭を始め、色々な行事で地域の皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。

私は今回の定期異動により、熊本県教育庁の学校人事課で勤務することになりました。母校である人吉高校を去り、生徒と触れ合う機会が無くなるのが非常に残念です。しかし、「置かれた場所で咲きなさい」とも言われますが、常に今の状況で最善を尽くすことが大切であると考えています。

最後になりますが、五木分校の益々の御発展と、生徒の皆さん一人一人が更に輝くことを祈念して挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。これからも、五木分校への御支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

永濱 秀明 副校長先生



感謝

このたび、三十七年間の高校教員生活を終え、定年退職することになりました。五木分校には、五年前の平成二十五年四月に赴任し、二年間五木村の職員住宅に住み、五木分校教頭として過ごしてまいりました。また、平成二十七年からの三年間は、人吉高校の副校長として、引き続き分校教育に携わることができ、通算五年間、五木分校と関わりを持つことができました。私にとってこの上ない喜びであるとともに、実に楽しい五年間でした。

十代後半の子供たちは、わずか三年間のあいだに飛躍的に成長します。入学当初はあどけなかつた生徒たちが、五木分校で過ごす三年間でたくましく成長していく姿を見続けてきました。「やれなかつた事がやれるようになる喜び」を生徒たちが体得し、「それを見届ける喜び」を教職員は得ることができる。一人ひとりが輝く五木分校、本当に素晴らしい教育がここにあると思います。

先生方の献身的な指導はもちろん、保護者の協力、そして何よりも五木村(中学校、小学校、保育所、役場、地域の方々)の全面的なバックアップに支えられて、五木分校の教育活動に多少なりとも携わることができて本当によかつたと思います。みなさんありがとうございました。

これからも五木分校が活気ある学校であり続けることと、生徒のみなさんの未来が輝いたものになることを期待し、応援し続けたいと思います。頑張れ!

消費者教育講座

2月28日(水)、金融広報アドバイザーの岩本好美氏を招いて、消費者教育講座を行いました。

主役は今春卒業する3年生ですが、1・2年生も一緒に講話を聞きました。契約の成立とクーリングオフ、昨今の消費トラブルの実例など、パワーポイントを使ったプレゼンテーションで具体例を挙げて話をされ、解りやすいものでした。特にカードの名義貸しや年齢を偽った契約などは、本人に瑕疵があるため自分の責任で払うしかないということは、いい教訓になったと思います。「お金は貯めてから使うもの!」ということは何度も強調されていました。消費トラブルに巻き込まれないことが一番ですが、いざというときの対処法を学び、相談先を知ることができたことは、これから社会人として自立していく卒業生に役立つものだったと思います。



五木分校ニュース! 祝200号!

いつも沢山の方々に分校ニュースをご覧いただき感謝しています。ありがとうございます。今後も、様々な学校行事や生活等を通して、五木分校の様子をお伝えしていきたいと思っておりますので、これからも五木分校をどうぞよろしくお願い申し上げます。

